

令和6年度人権教育授業実践研修会  
 中学校第2学年社会科（歴史的分野）学習指導案

令和6年 月 日（ ）第 校時  
 2年 組 人  
 ○○市町村立○○中学校  
 指導者 教諭 ○○○○○

1 単元名（中学社会 歴史 未来をひらく 教育出版）  
 幕藩体制の確立と鎖国

2 単元の目標

- (1) 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。（知識及び技能）
- (2) 統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどについて多面的・多角的に考察し、表現する。（思考力・判断力・表現力等）
- (3) 江戸幕府の成立と、幕藩体制による支配の確立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付ける。（学びに向かう力・人間性等）

3 単元の指導計画（7時間）

○ 江戸幕府は、どのように全国の統治を進めていったのだろうか。（小単元を貫く問い）

小単元名	時数	学習目標	主な学習活動
1 泰平の世の土台づくり	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 江戸幕府の成立の経緯とともに、大名の配置や領地替え、武家諸法度の政策によって、幕府が全国の大名を統制したことを理解する。</li> <li>○ 幕府が、諸大名に対して軍事的・政治的に優位に立っていたことや、幕藩体制の仕組みにより藩の政治の責任を大名に負わせたことに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年表を基に江戸時代を概観し、思ったことを話し合う。</li> <li>○ 江戸時代の仕組みや大名の朝廷への政策について調べ、幕府はどのようにして大名や朝廷を支配したのか話し合う。</li> </ul>
○ 大名行列と藩の財政	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料『会津藩主参勤交代行列図』や藩の財政に関するグラフを読み取り、参勤交代の様子について理解を深める。</li> <li>○ 絵画資料やグラフの読み取りを通して幕府が参勤交代の制度を設けたねらいと、その結果について考えを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料『会津藩主参勤交代行列図』や藩の財政に関するグラフを読み取り、徳川家光が参勤交代を大名に命じたわけについて考える。</li> <li>○ 幕府が参勤交代の制度を設けたねらいと参勤交代がもたらした結果について、幕府や大名、それぞれの立場から考えたことについて話し合う。</li> </ul>
2 東南アジアに広がる日本町	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 江戸時代の初めには、東南アジアの国々との朱印船貿易が盛んになり、各地に日本町ができたことを理解する。</li> <li>○ 幕府が外交政策を転換し、「鎖国」に至る過程をとらえるとともに、その理由について、キリシタンの増加、貿易や海外情報の独占との関わりから考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 江戸幕府の外交施策の変化について調べ、貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考える。</li> <li>○ 島原・天草一揆以後に幕府がとった対策とその影響について話し合う。</li> </ul>

3 開かれた窓	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「鎖国」下においても、長崎・対馬・薩摩・松前の窓口を通じて、オランダや中国、朝鮮、琉球、蝦夷地などと、交易や交流が行われていたことに気付く。</li> <li>○ 中国・オランダと長崎の関係や、朝鮮と対馬藩の関係から、江戸時代の国際関係について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鎖国下の日本と外国との対外関係について白地図にまとめる。</li> <li>○ 資料からアイヌとの交易について読み取り幕府との関係について話し合う。</li> </ul>
4 琉球・蝦夷地を通じた国際関係	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 琉球王国に対しては薩摩藩が、アイヌの人たちに対しては松前藩が、それぞれ交易を行いながら支配を強めていく過程を理解する。</li> <li>○ 琉球の人たちやアイヌの人たちは、支配下に置かれるなかで、それぞれ中国や日本との交流を深めながら独自の文化を発展させていったことに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 琉球王国と薩摩藩、アイヌの人たちと松前藩がどのような関係にあったかを確認する。</li> <li>○ 江戸時代の日本が、世界とどのように結びついていたか考え、話し合う。</li> </ul>
5 身分ごとに異なる暮らし	1 (6/7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幕府や藩が人々を支配する上で、身分制度が果たした役割や、えた・ひにんの身分とされた人々が差別を受けたことについて考える。</li> <li>○ 村や町に住む人々の暮らしの様子について、幕府や藩による民衆支配との関わりから理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 江戸時代の身分制度と武士、百姓、町人のそれぞれの職分や生活の様子を調べる。</li> <li>○ 調べたことを関係図にまとめ、身分制度が、幕府が人々を支配する上で、どのような役割を果たしたかについて話し合う。</li> </ul>
	1 (7/7) 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幕府や藩が行った被差別身分の人々に対する様々な制限や規制は、被差別身分の人々への差別意識を強める働きをしたことや、被差別身分の人々が、不合理な差別の中で様々な仕事を担いながら社会を支え生き抜いたことを理解し、生き方や身分制度について考えたことを表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 被差別身分の人々はどのような仕事を担い、どのような差別を受けていたかについて調べる。</li> <li>○ 資料を基に、差別の不合理さについて考え、厳しい差別の中でも様々な仕事を担いながら社会を支え生き抜いた人々の思いについて話し合う。</li> </ul>

#### 4 前時 (6 / 7)

##### (1) 目標

- 幕府や藩が人々を支配するうえで、身分制度が果たした役割や、えた・ひにんの身分とされた人々が差別を受けたことについて考える。(思考力・判断力・表現力等)
- 村や町に住む人々の暮らしの様子について、幕府や藩による民衆支配との関わりから理解する。(知識及び技能)

##### (2) 実際

学習過程	主な学習活動	時間(分)	◆指導上の留意点・学習資料
------	--------	-------	---------------

導 入	<p>1 資料を基に話し合い、学習課題を設定する。</p> <p>身分制の世の中で、人々はどのような暮らしをしていたのでしょうか。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸の町の様子、年貢を納める百姓、秋の祭礼でくつろぐ人々</li> <li>身分別の人口の割合</li> <li>◆ これまでの学習内容や資料を使うことで、どのような人々が暮らしていたのか、どのような暮らしだったのかを予想できるようにする。</li> </ul>
展 開	<p>2 教科書や資料集を使って百姓や町人の暮らしについて調べる。</p> <p>(1) 武士・百姓・町人の暮らしを調べる。 (2) 身分による差別について調べる。 (3) 身分制度が人々を支配する上で、どのような役割を果たしたかグループで考え、全体で交流する。</p>	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>百姓に対する法令</li> <li>雪駄づくり</li> <li>◆ 「〇〇の特徴があるのが武士」という形でそれぞれの身分をまとめさせ、生徒の気付かなかった事柄については補足をする。</li> <li>◆ 幕府や藩がどのように百姓を支配していたかをおさえる。</li> <li>◆ 生まれによって身分が決定していたことや男尊女卑が強まったことを確認する。</li> <li>◆ 差別された人々の役割と差別されていたことの理不尽さに気付かせながら、次時で詳しく学習することを伝える。</li> <li>◆ 牛馬の皮で作ったものに、太鼓や鎧や兜などもあることを補足する。</li> <li>◆ 分かったことを基に、身分制度の特徴について話し合う中で百姓や町人を分断し、支配することが幕府の政治の安定につながることに気付けるよう助言にする。</li> </ul>
終 末	<p>3 本時の学習についてまとめる。</p> <p>幕府は、身分制度によって身分ごとに住む場所や仕事、生活の仕方を分け、百姓や町人を分断して支配し、幕府の政治が安定するようにした。</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 戦国時代の下克上や幕府の大名支配の政策と関連付けながら、幕府の政治を安定させることが目的であることを意識できるようにする。</li> <li>◆ p. 125 最後の段落から次時の学習への関心を高める。</li> <li>※ 社会や文化を支える役割であった人々が、どのような差別を受け、どのように差別が強められていったかについて学習すること伝える。</li> </ul>

## 5 本時 (5 / 5)

### (1) 目標

- 幕府や藩が行った被差別身分の人々に対する様々な制限や規制は、被差別身分の人々への差別意識を強める働きをしたことを理解する。(知識及び技能)
- 被差別身分の人々が、不合理な差別の中で様々な仕事を担い社会を支えていたことを理解し、差別の中を生き抜いた生き方や、身分制度について考えたことを表現する。(思考力・判断力・表現力等)

### (2) 実際

学習 過程	主な学習活動	時間 (分)	◆指導上の留意点・学習資料
----------	--------	-----------	---------------

導 入	<p>1 本時の学習課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">身分制度が確立する中で、被差別身分の人々はどのように生きていたのだろうか。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ p.125「身分による差別」を読み、前事を振り返る。</li> <li>◆ 誰から支配を受け、誰から差別されていたのかを確認する。 支配：武士 差別：全ての身分の人々</li> </ul>
展 開	<p>2 厳しく差別されてきた身分の人々がどのような仕事をし、どのような差別を受けていたかについて調べる。</p> <p>(1) 仕事について調べる。 &lt;視点1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死牛馬の解体、皮革業、雪駄生産</li> <li>・ 治安、役人の下働き</li> <li>・ 芸能、雑業、井戸掘り など</li> </ul> <p>(2) 資料を基にどのような差別を受けていたかについて調べる。 &lt;視点2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 百姓や町人からの差別（村の運営や祭礼への参加の禁止）</li> <li>・ 幕府や藩による様々な規制（住む場所や職業の制限、服装などの規制）</li> </ul> <p>3 これまでの学習を基に、差別の不合理さと、その中で生き抜いた人々の思いについて話し合う。 &lt;視点3&gt;</p> <p>(1) 資料を基に、差別の不合理さについて話し合う。</p> <p>(2) 資料を基に、不合理な差別の中で生き抜いた人々の生き方や思いについてグループで話し合いまとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 差別への怒り</li> <li>・ 差別に負けない心</li> <li>・ 生き抜く力</li> <li>・ 技術を高める</li> </ul> <p>(3) 差別が260年続いたことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人々はなぜ差別したのだろうか。</li> <li>・ 江戸時代のシステムをどのようにすればよかったか。</li> </ul>	25                     1 5	<p><b>【視点1】</b> 人々の生活を支え、文化の創造・継承に努めてきたことに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 被差別身分の人々の様々な仕事を調べ、人々の生活に必要な仕事を担っていることに気付かせる。</li> <li>◆ 室町時代のケガレを清める役割を担っていた河原者の存在と、ケガレを恐れ排除・差別の対象とした人々の心情がつながっていることを確認する。</li> <li>・ 学習資料①（被差別身分の人々が行っていた仕事）</li> </ul> <p><b>【視点2】</b> 厳しく差別されてきた身分の人々への差別の不合理さについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 他の人々の生活を支えたにも関わらず、差別が制度化され、差別意識が強められていったことに気付かせる。</li> <li>・ 学習資料②（被差別身分の人々を取り締まる法令）</li> </ul> <p><b>【視点3】</b> 厳しく差別された身分の人々が不合理な差別の中を、どのような思いで生きてきたかを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 差別が当たり前だった時代に、堂々と自分の仕事を行った人々の強さやたくましさ気付けるようにする。</li> <li>◆ 太鼓作りを担いながらも祭りへの参加を拒まれたことや、武士の命を守る鎧を作りながらも武士から支配・差別されたこと等から差別の理不尽さを捉えさせたい。人々の生活を豊かにし、命を支える仕事を担っていた事実と差別の事実を比較しながら、人が人を差別することについて考え合う。</li> <li>・ 学習資料③「誇りをもって生きる」</li> <li>◆ この差別がこの後多くの人々を苦しめ、江戸時代が終わった後も様々な差別に反対する運動が起き、現在も続いていることを補足する。</li> </ul>
終 末	<p>4 本時の学習についてまとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">不合理な差別の中、様々な仕事や役割で社会を支え、たくましく生き抜いた。</p> <p>※ 感想を基に本時の学習の成果を確認する。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 板書の中で、ポイントとなる言葉を確認しながら、学習をまとめる。</li> <li>◆ 被差別身分呼称について、この言葉を教科書に載せることで差別をなくせる子どもたちを育てて欲しいという思いを丁寧に伝える。</li> </ul>

【授業に当たっての留意点】

- 同和問題（部落問題）の歴史と授業のポイントについて  
令和5年度版人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会 様々な人権課題」p.17～24を参照する。
- 被差別身分呼称（賤称語）の取り扱いについて  
令和6年度版人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会 様々な人権課題」p.9～10を参照する。被差別身分呼称（賤称語）が教科書に掲載されている意味についての理解を深め、授業を展開するに当たっては、差別をなくすためにどうしたらいいかを考え合う授業になるよう留意する必要がある。学級や学年の実態に応じた柔軟な授業展開が求められる。